

# 数独の解き方 初級編

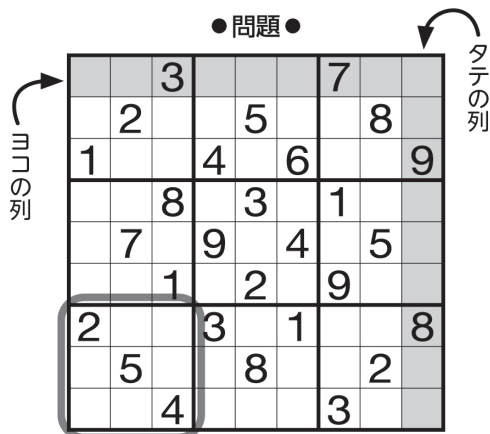
それでは、数独の解き方を説明していきましょう。まずは、ルールの確認から。

## 【ルール】

- ① まだ数字の入っていないマスに1から9までの数字のどれかを1つずつ入れましょう。0（ゼロ）は使いません。
- ② タテ列（9列あります）、ヨコ列（9列あります）、太線で囲まれた3×3のブロック（9つあります）のどれにも、1から9までの数字が1つずつ入るようにします。

右のページに数独の問題と答えの一例を挙げておきます。答えを見ていただくと、すべてのタテ列、ヨコ列、3×3のブロックに1から9までの数字がそろっていることがわかりいただけるかと思います。なお、数独ではどの問題に対しても答えは1通りしかありません。右ページ上の問題の答えは、右ページ下に挙げたもの以外にないのです。

タテヨコの列も、ブロックにしても、マスはそれぞれ9つずつあります。そこに9種類の数字を1つずつ入れるので、タテの列、ヨコの列、ブロックのいずれでも、数字が重複してはいけないことになり、そのことが数独を解いていく上での重要な筋道となります。



ブロック…太い線で囲まれた3×3のまとまり



## ●答え●

4	6	3	2	9	8	7	1	5
7	2	9	1	5	3	6	8	4
1	8	5	4	7	6	2	3	9
9	4	8	6	3	5	1	7	2
6	7	2	9	1	4	8	5	3
5	3	1	8	2	7	9	4	6
2	9	7	3	4	1	5	6	8
3	5	6	7	8	9	4	2	1
8	1	4	5	6	2	3	9	7

タテの列、ヨコの列、ブロックのいずれでも、1～9の数字が重複せずに入っていますね